

# ふくしむら 21

第 78 号 (最終号)

発行日：2024 年 3 月 31 日

発行：福祉村委員会

編集責任者：末竹十大

印刷：ラクスル株式会社

## 最後の福祉村委員会

- 一月十六日、最後の福祉村委員会が開かれました。
- 終りに記念撮影をしました。① 東海教区任命の委員
- 委員からのメッセージをここに掲載します。

成長するにつれて自立を求められ、自立とは弱みを見せないこと。そんな教育を受けてきたように思います。「馬鹿にされたら嫌だなあ、拒否されたらどうしよう」と思い、強がってしまう……。ところが、人の温かさに触れるときは、決まって、さらけ出した姿を大切にされたときなのだと感じています。私は福祉村ではありのままを話しました。子どもや職員が抱えるやりきれなさに触れるたびに、私は無力感にさいなまれ、心は激しくゆらぎ続けます。関係機関を頼るもいきなりハシゴを外されることもしばしば。福祉村委員会やわいわいワーク、ふくしむらデイで言葉を交わし合い、教会のみなさんが真剣に耳を傾けてくれて、ゆらぎの中で生きている私に物心両面で力を貸してくれました。これからも私たち（子どもも大人も含めて）が、深いところでつながっていきたいと思っています。

小久保秀樹

福祉村委員会の終わりに感謝申し上げます。3 年前から委員会に参加させていただき皆様の福祉村への情熱を感じます。デンマーク牧場福祉会がようやく 20 周年を迎えられたのも、皆様の今迄の活動あってのものと思います。特にディアコニアはこの 10 年間存続の危機を迎え、なんとか今年光が見えてきました。まきばの家・こどもの家も制度が様変わりしていく中、変化に合わせる事は事業存続につながると確信しております。これからの福祉村として福祉村セカンドステージ「(仮称)デンマーク牧場こども家庭サポートセンター」開設準備がすすめられています。今までの活動へ感謝、そして引き続き皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

梅田和寛

20 周年を迎えたデンマーク牧場福祉会。独り立ちしても自分の可能性を広げる旅は続いて行きます。福祉会を通して、成長し、社会に出ていく人たち。社会での働きを終えて、福祉会の懐に安らう人たち。福祉会は、社会とのつながりの中で呻吟する人たちのいのちを回復し、新たに生きる力を与える場。これまで多くの方々がこの働きに関わり、多くの方々の力となってきました。そして、これからも一人ひとりに神さまの力が注がれるようにと祈りつつ仕えて行くデンマーク牧場福祉会。東海教区の福祉村構想は神さまが思いを起こし、実現してくださるもの。まだまだ続いて行きます。これからどうなっていくのかを楽しみにしながら見守って行きたいと思っています。

末竹十大

神学生の頃青年達と草刈りに行き、牧師になって旧こどもの家で全国中高生キャンプ (Teens Camp) をし、教会事務局の頃に会議室で福祉村の夢を聞き、ブラジルから帰国後東海教区に赴任しわいわいワークに行き、翌年教区長になり福祉村委員会にも出るようになりました。30 数年の間、行く度に働きが広がり、施設が増えてゆく変化を見ながらも、変わらない祈りと情熱に触れてきました。福祉村委員会も役目を終え、新しい委員会に引き継がれていきます。私が、わき目で、遠目で、そして、ただ中で見てきたことは、大きな神の働きでした。これからも、福祉会・教区・道友会・新霊山教会の共同の中で、大切な宣教の働きが続けられますように。

徳弘浩隆

デンマーク牧場が開墾され60年、デンマーク牧場福祉会が開かれて20年、私は40年間、医師として病気で休むことなく診療し、また日曜ごとに集会（エクレスシア）に参加することがゆるされています。しかし、私たちは、いつも、いつまでも兄弟たちと顔をあわせて礼拝にあずかることはできません。病を負い、年を重ねる中で、独り神を仰がざるをえなくなる事があります。遠く離れて苦闘されている兄弟たちを覚えます。あわせて福祉や牧場の働きを日々荷なっている兄弟たちのことを覚えます。聖日ごとに教会に出席できないが、日々自分の体を神に喜ばれる聖なるいけにえとして捧げ、神に礼拝している（ロマ書12章1節）兄弟たちに心より感謝し、共に喜び共に悲しみ（ロマ書12章15節）、祈り合いつつ歩みたいと願っています。

この豊かなる「大地」によき働き人がひき続き与えられ、平和と愛の発信地として、より心開かれた交わりの場となり、一人ひとりに寄り添い合いながら歩めますように、お祈り、お支えをお願いします。

武井陽一

福祉村と言えば、「わいわいワーク」の事が思い出されます。私にとっては20年ほど前、まだ道友会の職員だった頃からの関りです。鶏小屋を解体、牛舎の屋根裏の床の張替え、売店や馬のサークルのペンキを塗るようなハードな作業もお願いしていました。各教会から選抜された方々と時間内で形になるころまで作業をすすめようと必死だった回もありました。その場を共有した者達との一体感を感じたものです。その頃は、フリースクールの青年達と一緒にでした。時代が流れ、コロナ禍を経て昨年は、いぶきの障がいのグループも教会の方々にまじり一緒に草刈り、草集め等を行いました。私の所属も道友会ではなく、社会福祉法人になっています。

祈り・労働・学びは、デンマーク牧場の原点です。今までの福祉村委員会の活動は終了しますが、「わいわいワーク」それに繋がる活動が継続していく事を願うばかりです。これからもご支援の程、よろしくお祈りいたします。

刑部隆一

老人ホーム建設のため「福祉村設立委員会」が正式に立ち上がったのは1994年。以降、神様がそれを許されて、今現在、「デンマーク牧場福祉会」が地域での様々な社会福祉サービスに貢献していることは奇跡的なことと感じています。そして自分が途中から職員として、デンマーク牧場に関わることになるうとは夢にも思っていませんでした。これまで支えて下さった福祉村委員の皆様をはじめ、献金やお祈り、その他さまざまな形でご支援をして下さった多くの方々に感謝申し上げます。今後はさらに楽しく、誰もが集える「デンマーク牧場」になります。これからも皆様のお支え、お祈りをお願い致します。 牧 撰

2021年4月13日から委員に加えられました。委員会では、施設長の皆様とお会いでき、施設でのお働きのこと、牧場のことなどお話を伺う恵みをいただきました。ご苦勞の多いお働きだと感じ、職員の皆様に頭が下がります。力をいただくこと、教えられることが多くありました。お働きが守られ、御恵み豊かな時が備えられてゆきますようにとお祈りいたします。そして、長きにわたって祈り支えてこられた教区や全国の皆様に尊敬と感謝の念をいだけております。本当に大きなお支えです。神様を賛美いたします。これからもお働きのために祈りつつ、交流を深めてゆけたらと願っております。 光延 博

私が初めてこの地を訪問した時、体育館があり、デンマーク牧場のバザーが開かれていました。東海教区は「福祉村構想」を実現しようと祈りを続け、ついに2003年春に特養ホーム「ディアコニア」を設立いたしました。設立時、東海教区が母体となるために必要な自己資金のうち不足していた1億1,900万円を借入しましたが、20年の長期間、皆さまからの支援を頂き、2023年12月に返済を終了しました。皆さまの物心両面にわたる御支援に心から感謝もうしあげます。借入金返済を終了でき、次の目標に向かって進みます。心からの感謝を申し上げ、今後の計画と働きに神さまの導きをお祈りします。 明比輝代彦

「たった今、わたしたちはどうしたら渡れるかも想像できないほどの大海の前に立っている」と『ふくしむら 2000』(1995 年 11 月発行)の巻頭言で福祉村設立委員長の故重富克彦牧師が「幻を共有しよう」と一億円募金を呼びかけています。受けとめられたバトンは引き継がれ渡されて約 30 年。「大海は開かれた」と教区内だけでなく教区外で、また天国で喜びを共にする多くの皆様の姿が見えるようです。私は会計として後半 15 年間を用いていただき感謝でした。お一人おひとりの募金には、福祉村を応援する思いが込められていました。そして、これからも祈り支えて下さることは変わるものではないと信じています。

櫻井國江

清々しい茶畑の中に点在する各施設は、天の大きい光が降り注いでいます。数年間でしたが、福祉村委員会に参加させて頂き、感謝いたします。現場で起こるあらゆる状況に、一つ一つ真摯に、真正面から取り組んでおられる職員の方々の声を、直に聴くことができたことは、私にとって本当にかげがえのない宝物となりました。福祉会の理念を実践していくことは、本当に難しい。時間をかけて、じっくりと寄り添い、共に歩みつつ進まれる先に、希望が見えてくるのでしょうか。この大地に更に連携を取りつつ根をはって、歩み続ける福祉村に、心を留めていきたいと思います。

遠藤富美子

福祉村委員として係わることができたことに感謝です。初めは書記として途中からふく茶担当となりました。教会の皆さんのご協力でたくさんの注文をいただき感謝でした。コロナ禍で礼拝が中止となり注文が減少した時もありましたが各教会で工夫してくださり続けることができました。それぞれの施設の方々のお話からご苦勞も知ることができ委員になったことで理解も深まりました。ディアコニアから始まったデンマーク牧場福祉会がその時々々の要請により広がり新しい施設が生まれる姿に希望を感じます。これからもわいわいワークや福祉村デイにより教会とのつながりが続いていくことを願っています。ふく茶の利益は福祉会のために用いられます。これからもご協力をお願いします。

芳賀美江

福祉村委員のメンバーとして私のような者を引き上げ、用いていただいたことに改めて感謝。私は「広報担当」として「ふくしむら 21」の作成に関わってきました。「福祉村の今」を発信して、支援者の方々と「福祉村の現実」を共有し合いたい、そんな思いで紙面づくりに携わってきました。私の福祉村体験は「恵み」そのものでした、感謝します。

今後も「福祉村」の活動を覚えて、繋がっていききたいと思います。

伊藤旭人

写真①



【まきばの家にて】

前列左から 光延牧師、末竹牧師、徳弘牧師、明比牧師  
後列左から 遠藤姉、櫻井姉、伊藤兄、芳賀姉

写真②



【ディアコニアにて】

左から ディアコニア牧氏、いぶき刑部氏、事務長白濱氏、まきば小久保氏、こひつじ武井氏、ディアコニア梅田氏

福祉村のために篤いお祈りと貴重な献金を心より感謝いたします

「福祉村募金」献金者 (敬称略) 2023 年 11 月・12 月

個人

勝部 哲[蒲田] 白川道生・知子[佐賀] 内藤文子[小岩] 宝珠山清子[日吉] 山之内正俊・初枝[合志]  
吉岡宏美[竹の塚] 伊藤昭子、高野利夫[沼津] 小野エミコ、中山由美子、西野孝枝、望月隆延、山本  
美智代[清水] 芳賀直哉・美江[小鹿] 池谷益代、伊藤七男、黒田 緑、杉山雅人、宗 美江、中川将巳・  
律子、原 ふじ子、光延 博、匿名[静岡] 伊藤節彦・真理、大柴 潔、片川三枝子、川村千代江、金高  
美江子、櫻井 隆・國江、篠崎厚子、杉本光子、沼野寿子 [栄光] 明比輝代彦・史子、柴田恵子・光  
鈴木敏雄・皓子、寺嶋豊司・文世、中川和子[新霊山] 伊藤旭人、渡邊克博・直美[浜松] 石田宏美  
小松康宏、福岡美恵子[岡崎] 神谷佳世子、杉浦家、高橋恵美、柘植フサ子、丹羽康裕、福田正美  
深川育子 [刈谷] 伊賀佐與子、武居良美 [知多] 市川 旬、一ノ瀬彦治・安子、今枝隆久・有里子  
井森悠子、大野捷二・比奈子、菊池 敏・幸子、ケネス・ロビンソン・小坂敦子、坂井茂子、塩田  
浩、小島知永子、嶋 昭江、中島里実、西尾三郎・和子、堀 育美、村松正義・美那子、山田隆明  
吉田玲子 [なごや希望] 石川吏志・美代子、犬飼通之・佐智子、大野信雄・良子、小原春子、神崎  
昇・悦子、岸 享子、木村敦子、黒野春枝、後藤由起、白井美枝子、杉浦良一、鈴木光治・貴美子  
田村辰夫・勝子、鳥飼勝隆・豊子、永津浩哉・睦子、深谷昭治・節子、藤田房子、藤原 薫、宮田  
増男・久美子、安井則夫・芳子[名古屋めぐみ] アウク・ジョージ、大岡よし江、太田立男・泰子、小出  
聡子、詫間裕子、山縣由喜子 [復活] 浅井道子、稲垣八重子、甲斐亜希、勝田周子、草野武志・淳子  
谷川卓三・文江、長谷川善造、古川のぞみ、松宮ひびき、松宮洋子、安田久夫・チヨ子、山下裕子  
[高蔵寺] 小川佳代子、小田 泉、小田博久 [岐阜] 秋田明子、秋田義彦、大場弘子、岡田敦子  
齋藤幸二・末理子、柴田るみ子、杉岡隆子、鈴木輝一郎、田口道治・和子、千田知栄[大垣]

団体

旭ヶ丘保育園、大分教会、大分教会女性の集い、女性会連盟、箱崎教会女性の会、富士教会  
静岡教会、栄光教会、栄光教会焼津礼拝堂女性会、浜松教会、挙母ルーテル幼稚園、知多教会  
箱舟保育園、東海教区女性会 [2023 年度 募金合計額 4,037,957 円]

[1994 年 11 月～2023 年 12 月 募金総額 156,896,126 円]

《福祉村返済募金終了感謝と今後のお願い》

約 30 年に及ぶ募金活動にご協力いただきましたことを感謝いたします。

デンマーク牧場福祉会は、設立のために教区債を募り、また本教会管理の下にありました複数の資金・  
基金を設立資金として使用する許可を受けて設立資金を準備することができました。その後、東海教区及  
び全国のみなさまのご協力によって 2023 年 12 月末日をもって本教会への返済は終わり、募金活動は終了  
することとなりました。これまで、各教会のチーフサポーターとして働きくださったみなさまに感謝い  
たします。

デンマーク牧場福祉会が設立の原点に立って、新しい展望の下に成長していくためにお祈りいただけま  
すと幸いです。2024 年からは現在のチーフサポーター制度は無くなります。東海教区と日本キリスト道  
友会及びデンマーク牧場福祉会の三者協議会で協議して、新しい支援の形を考えることになるとおも  
いますので、引き続きご支援をお願いしたいと思います。これまでのご協力に感謝すると共に、これか  
ら福祉村の働きを覚えてくださいますように、よろしくお祈り申し上げます。

東海教区福祉村委員会 委員長 末竹十大